

瑞牆山・金峰山

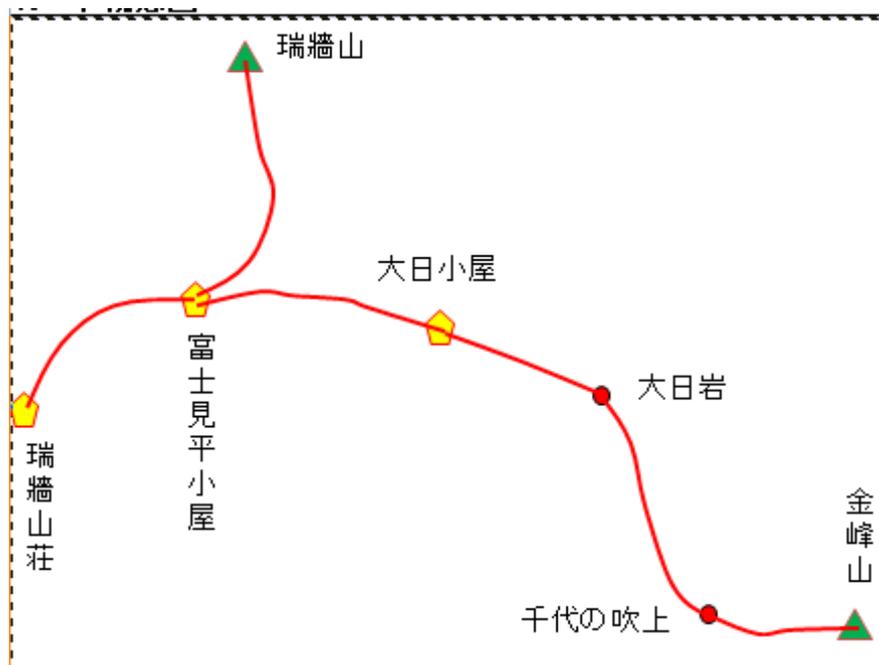
山行日 2018年6月2日(土)～3日(日)

コースタイム

6/2 瑞牆山荘 10:05＝富士見平小屋 10:50/12:00＝瑞牆山 13:55/14:05＝富士見平小屋 16:00

6/3 富士見平小屋 5:50＝大日小屋 6:50＝大日岩 7:15/7:25＝金峰山 9:50/10:20＝大日岩 12:05/12:15＝大日小屋 12:35/12:40＝富士見平小屋 13:25/13:55＝瑞牆山荘 14:30

コース

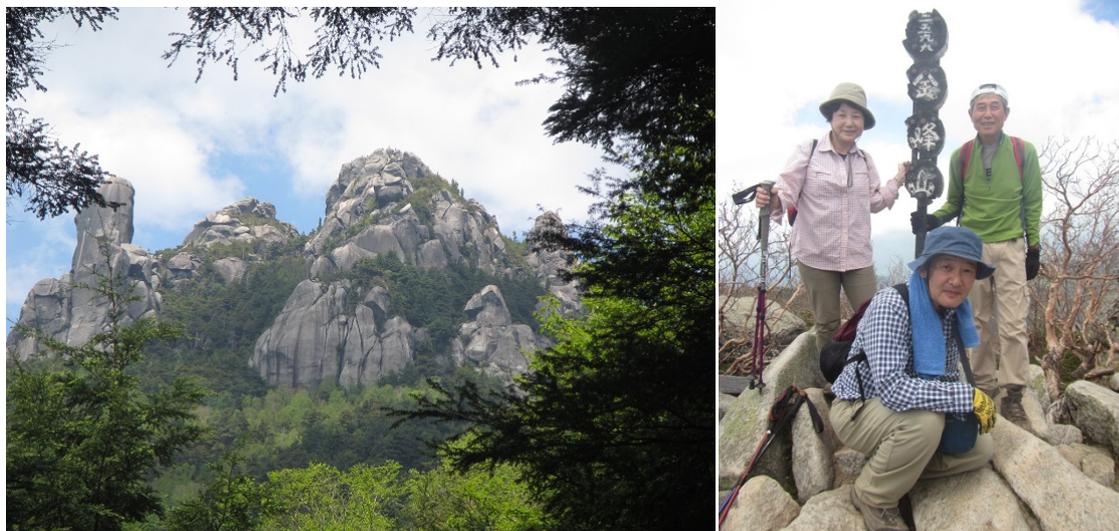


こんなはずでは!!

6月2日(土)～3日(日)で瑞牆山と金峰山に行ってきました。

当日は梅雨前の貴重な晴れ間です(山に行ってる場合ではないのですが…洗濯は?)。新宿駅7:00の「あずさ1号」、指定席の予約は満席です。当然混雑が予想されるので約30分前に駅に到着、列に並びます、が、二人がなかなかやってきません。乗車が始まり、やりたくはなかったんだけど3名分の席を確保。教訓「あずさ1号」は早めの予約が必要です。あっという間に蕪崎に到着。私たちの乗車位置は5号車、下車してみると改札は12号車辺り、長いプラットホームを延々と歩きます。改札を出てバス停に着くとそこは長蛇の列、「乗れるかな?」と不安を抱きます。予想した通りバスは満車、臨時便も満車、で、私達は結局バスで行くのはあきらめてタクシーに変更。そこで目の前にザックを背負った一人の若い男性発見、強引に拉致して瑞牆山荘まで同行願いました。バスは2060円、タクシーは10630円、ちょっと高いですがぎゅうぎゅう詰めのバスより快適でした。瑞牆山荘から登山開始です。久しぶりのテント泊なのでザックの重さが身に堪えます。富士見小屋までの登りは1時間弱、何とか登りました。

富士見小屋のテント場は傾斜も少なく地面も柔らかく good。最終的に 30~40 張の色とりどりのテント村が出来上がりました。テント設営後、瑞牆山へアタック開始。リーダーの野崎さんがムチャムチャ飛ばします。「喜寿直前の登りじゃないでしょ」と思いつつがんばって追従して行きます。癒されたのはシャクナゲの花、満開です。シャクナゲは開花直後は濃い赤で、開花すると上品なピンク色になる事知ってましたか？



あっという間に頂上へ、途中、野崎さんのストックが折れ(折れるのですね～、扱い要注意です)、道のわきにデポしてきました。登山途中から若い人が多いと思っていましたが、山頂はご老体の姿はほとんどありません。山は若い人に占領されてます。10年以上前は「ジジババ」がたくさん居たのですが・・・。下山後ご夕食の準備です。豚汁です。廣谷さんが一人で材料を担ぎ上げて、更に、調理までして頂きました、感謝感謝です。近くのテントは大学のサークルでした。若い華やいだ声、普段聞きなれない音質、で、何を作っているか見てみると「パスタとパンケーキ」、山食もここまで変わるものでしょうか。

翌日は 6:00 に出発、金峰山を目指します。奥秩父らしい静かな森林の中を歩いて行くと後ろから昨日の学生達が追い上げてきます。飛ぶ様に走ってきます、ストック無しで。あっという間に抜かれてしまいます。私達もやっと「砂払の頭」に到着。ここからは稜線歩きですが、ここからは岩道、大小の岩の上を歩いて行きます。3人とも踏ん張りながら一步一步、岩をクリアしていきます。やっと頂上の「五丈岩」に到着。3人とも「以前はこんなに大変じゃなかったのに」と申しております、登山道は何十年と変わる訳が無く、変わったのは「己の運動能力」である事を実感した次第であります。こんなはずでは!!

後は下山し富士見平のテントを撤収して帰路につきました。